



商店街

産業委員会

市の経済文化部、農林部及び農業委員会の所管に属する事項に対応する委員会です。

◎森岡和雄 ○北本周作 秋久憲司 木下健二
原 行則 久永良一 森西順次 米井知博

今期定例会において、産業委員会に付託された議案第八十号ほか五件の議案について審査した。

これらの審査に当たり、当局の説明を聴取し、慎重に審査した結果、議案第八十号については、一部委員から反対意見があり賛成多数で、その他の議案については、いずれも全員一致で可決すべきものと決定した。

議案第百号については、ふるさと津山サポート基金について質問があり、昨年四月に受けた寄付金を今年度のふるさと納税と合わせて基金に積み立てるものであるとの答弁があった。

次に、商工振興事業寄付金について質問があり、全国の企業からホルモンうどん研究会に対して、商品開発の協力依頼が来ており、これまで十五社二十三品目の商品が販売されている。その売上げの1%を研究会が「まちづくり協力金」として受け取り、全額津山市に寄付していただけるものであるが、今年度については、五十万円

を震災への支援金とし、残り百万円を津山市に寄付するとのことであるとの答弁があった。

次に、議案第八十号については、委員から、中心市街地活性化に關係する事業について質問があり、県の緊急雇用創出事業や、ふるさと雇用再生事業を活用し、商工会議所や中心市街地活性化協議会への人的支援を行うための委託料、また、中心市街地活性化基本計画のハード事業に対する補助金などを計上しているとの答弁があった。

また、商店街の空き店舗対策である「パワーアップ商業振興事業補助金」については、事業仕分けで廃止の判定を受けているが、中心市街地活性化基本計画に位置づけられた事業で、認定にも大きな影響を及ぼすことから、内容を見直して継続を図っていきたいとの答弁があった。

次に、ヌートリア農作物被害防止事業委託料について質問があり、県の緊急雇用創出事業を活用し、狩猟免許を持たない人に講習を受

講してもらい、箱わな等を使ってヌートリアを捕獲してもらうものであるとの答弁があった。

これに関連して、有害鳥獣駆除班員がヌートリアを捕獲した場合の補助金について質問があり、来年度から一頭当たり千円の補助が出るよう予算計上をしているとの答弁があった。

また、委員から、阿波グリーン公社に委託し、特産品の開発や、販路の開拓を図っている事業があるが、黒大豆の枝豆の産地化や販路拡大に取り組めないか、との意見があり、今年度から栽培強化に取り組んでいるところで、来年度も引き続き取り組んでいきたいとの答弁があった。

議案第百二十号については、市営阿波バスの料金について質問があり、年齢による一律料金体系から距離制の料金体系に改め、当面的間は激変緩和措置として、半額の料金で運用するとの答弁があった。

◎ 政治家に対し、寄付を出すように勧誘や要求することは禁じられています。